

第4回 景観エリアマネジメント講座の様子

代表あいさつ



梶山 秀一郎 氏 (京町家作事組理事長)
「京町家が伝えるもの、暮らし・大工の知恵」

町家の暮らしとそれを支える町式目などの「仕組み」そして建築としての「ハード」どれをとって現在の町家保存にとって欠かせない視点です。氏の建築家としてのリアルな体験も交えて貴重なお話を頂きました。



尾崎 真理 氏 (株オズカースタジオ)
「色彩における伝統的美意識と風土色」

身近なようで案外難しいカラーコーディネーションの基本から心構えまで実演を交えながら熱く語って頂きました。



笹岡 隆甫 氏 (華道家)
「伝統文化から受け継ぐ美意識」

花を活けるということの精神性の本質。京都で景観エリアマネジメントを考える上で決して無視できない概念です。伝統の上に立脚し建築を学ばれた経験のある先生による重みのあるお話が聞けました。

